

平成17年度 第3回豊田市生涯学習審議会 会議録（公開用）

【日 時】 平成17年11月25日（金） 午後2時～午後4時30分

【場 所】 朝日丘交流館 1階多目的ホール

【出席者】 （委 員）北川吉久（学識経験者）
釘宮順子（子育て支援グループ代表）
久米昭次郎（市民公募委員）
古賀路子（交流館長代表）
後藤冷子（青少年健全育成推進協議会代表）
斉藤秀平（愛知教育大学教授）
柴田富信（学識経験者）
西原保彦（前旭町代表 前旭町社会教育委員）
深田逸雄（前下山村代表 前下山村社会教育委員）
藤嶋正美（前足助町代表 前足助町社会教育委員）
二村光三（前小原村代表 前小原村社会教育委員）
牧野 篤（名古屋大学大学院助教授）
松浦 崇（市民公募委員）
松山美重子（小中校長会代表）
（事務局）名倉宣汎（社会部長）
畔柳寿文（生涯学習課長） 長谷川昇（生涯学習課副主幹）
鈴村博之（生涯学習課係長） 加藤達志（生涯学習課主査）
（関係課）水野孝之（自治振興課長） 小野修市（次世代育成課長）
榊原昌子（学校教育課指導主事） 粕谷濱夫（図書館長）

- 【次 第】 1 あいさつ
2 朝日丘交流館見学
3 議 題
（1） 調査研究の中間報告
都市内分権と生涯学習の役割 資料1 - 1
交流館と学校図書館等との連携 資料1 - 2
（2） 生涯学習事業の検証 資料2
（3） その他
4 報 告
・ 東海北陸社会教育研究大会（大垣大会）報告
・ 全国社会教育研究大会（帯広大会）報告
5 連絡事項

1 あいさつ

会 長 : 朝日丘交流館は市内で最も新しい交流館である。小学生の殺害事件など想像もつかない事件がおきているなかで、生涯学習分野でもまだやっていくべきことが多いと感じている。

社会部長 : 団塊の世代の退職、出生率の低下が進む中で、生涯学習の役割も変わってきている。今後も交流館の建て替えを進めていくが、その時代に見合った柔軟性をもって対応していきたい。

2 交流館見学

記述省略

3 議 題

(1) 調査研究の中間報告

都市内分権と生涯学習の役割 資料 1 - 1

委員 A : (日本の地方分権施策の展開、豊田市行政関係者へのヒアリング内容、藤岡・小原交流館へのヒアリング内容について説明)

会 長 : 今説明があったように、藤岡交流館と小原交流館を見ていただき、今後足助・旭・下山の3交流館を訪問していただく予定である。藤岡地区では新たに中学校の建設計画があり、1中学校区1館の方針を考えれば、藤岡地区内にもうひとつ交流館が必要となる。これから3交流館を訪問する際、都合がつけばその地区の審議会委員の方にも出席いただきたい。

交流館と学校図書館等との連携 資料 1 - 2

委員 B : (高橋交流館、学校図書館へのヒアリング結果、石川県白山市の図書館連携の事例について説明)

会 長 : 高橋交流館では、交流館とこども図書館はいっしょにあるのか。

生涯学習課 : 同じ敷地内であるが別棟となっている。

委員 C : 資料 1 - 1 の P27 にあるように、旧藤岡町同様、旧小原村も行政が補助金を出して住民団体を育ててきた。今後、資金的援助がなくなった時に自立できるかが課題である。

会 長 : 来年度から立ち上がる地域会議が交流館でうまくやっていると良い。

生涯学習課 : 交流館が市民団体とどう連携していくか、また交流館を市民団体の活動のきっかけづくりや情報提供の場にしていきたい。

会 長 : 各交流館で「こうすれば良い」という提案があると良い。旧藤岡町では社会教育審議会と公民館運営審議会が兼ねていたため、合併で公民館運営審議会がなくなってしまったようだが、これでは良い交流館の運営はできない。

委員 D : 合併したため、旧町村の枠組みは外し、地域の良さを生かしながらも旧豊田市のやり方を学んでいくべきである。また組織では、同じ人が兼務すると形骸化する恐れがある。自分たちで運営できる体制づくりが求められる。

生涯学習課：地域会議はこれまでの組織と機能が異なるため、これまでと同じようなメンバーにはならないと思われる。

委員D：読書においては乳幼児への対応は豊田市でも行っているが、小学校や中学校まで継続していくことが重要である。これは他の市町でも同じであり、全国的にもなかなか広がっていかない。良い方法を調査でご提案いただきたい。

委員E：プレーパークの活動など、世代を越えた活動に参加しているが、熱心な人は多いものの同じ顔ぶれが多く、自分の地域内での活動で満足している。またまじめな方が多く、思った通りに子どもが育たないと不安感でいっぱいになるようである。青少年センターのあり方を検討するとともに、子どもの自主性についてもっと考えるべきである。

委員F：高橋交流館のこども図書館に訪問した時、ボランティアの集いの場や地域の遊び場となっていると感じた。こうした施設が市内に広がっていくと良い。

会長：中身のある活動が、市内に広がっていくと良い。

図書館：同じ本を10冊購入し、読書会になどに貸し出す10冊文庫というものを継続して行っている。今後は読書クラブを増やしていきたい。

委員G：美里交流館では蔵書数が増加し、本の検索機能を進めているが、なかなか業務時間の短縮につながっていないのが現状である。

(2) 生涯学習事業の検証 資料2 (生涯学習課)

生涯学習課：(平成12年度策定の「これからの交流館に求められる機能」及び「家庭教育の向上に向けた取り組み」の提言書に関する検証結果を報告)

4 報告

東海北陸社会教育研究大会(大垣大会)及び全国社会教育研究大会(帯広大会)について、講演概要等について報告

5 連絡事項

- ・次回は2月頃開催予定